

名古屋市地域公共交通計画（令和6年3月策定）に記載している施策に基づき、取組状況を整理しました。  
事業の実施状況に基づき、事業評価等結果を作成します。（別紙参照）

実施施策	2024	2025	2026	2027	2028	R7年度の主な取組（赤字は更新箇所）	R8年度（案）	
<b>（1）公共交通による移動サービス水準の維持・確保</b>								
① 求められる役割に合わせた公共交通の維持・確保	「幹」「枝」「葉」の役割の整理にあわせ、交通事業者、行政、市民利用者といった実施主体が連携・協働しながら、公共交通の維持・確保をはかります					計画に記載	・葉の役割を担うデマンド交通に係る実証実験（西福田学区） 公共交通空白地を含む学区のうち、地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区において、 <b>令和6年度の実証実験を踏まえ高齢者割引等を導入して実証実験を行うとともに、葉の役割を担う地域ニーズに即した交通支援制度を検討。</b>	交通支援制度の検討を継続
						計画推進に資する	・日本版ライドシェア 名古屋交通圏において、道路運送法78条3号の許可による日本版ライドシェア（自家用車活用事業）が運行中。 （令和6年4月26日運行開始） ・mobi 千種区において4年間運行していたが、 <b>事業収支の悪化により事業廃止。（令和7年12月31日）</b>	継続実施  -
② 公共交通のわかりやすさ・使いやすさの向上と利用促進	公共交通の現状や乗換案内など、市民利用者へ情報提供する内容の整理を行います				公共交通の現状などを市民利用者に周知し、自動車から公共交通への転換を促します	計画に記載	・WEBサイトにおけるバスルートマップによる情報提供（名古屋市におけるバス路線図の作成） バスの利用促進をはかるため任意の停留所を選択し、その停留所を通過する系統の全てを地図上に表示する機能が追加された「なごや乗り換えナビ」をWEB上で公開中。 ・バリアフリールート情報提供 誰もが駅周辺の移動をスムーズに行えるための情報提供として、バリアフリーマップ公開中。	継続実施  継続実施
						計画推進に資する	・日本版ライドシェア【再掲】 名古屋交通圏において、道路運送法78条3号の許可による日本版ライドシェア（自家用車活用事業）が運行中。 （令和6年4月26日運行開始）	継続実施
③ ガイドウェイバスへの自動運転技術の実装	GWBへの自動運転技術の実装に向けた取組みを進めます				GWBへの自動運転技術の実装で得られた技術・経験	計画に記載	・自動運転技術の実装に向けた取組み 高架区間特有の課題（狭さ、急カーブ、横風など）解決に向け、 <b>実験計画書の作成等を実施中。</b>	継続実施
<b>（2）地域の実情に応じた移動手段の確保</b>								
① 交通支援制度を活用した新たな移動手段の導入	交通支援制度を活用した実証実験を行います	支援制度を活用し、地域主体による新たな移動手段の導入を促進します 新たな移動手段の有効性に関する効果検証を行います				計画に記載	・交通支援制度を検討するための実証実験（西福田学区） 公共交通空白地を含む学区のうち、地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区を交通支援制度を検討するためのモデルケースとして、 <b>令和6年度の実証実験を踏まえ高齢者割引等を導入して実証実験を実施。</b>	交通支援制度の検討を継続
<b>（3）先進技術を活用したシームレスな移動環境の形成</b>								
① AI技術を活用した新たな移動手段の導入検討	新たな移動手段の導入に向けた実証実験における活用を検討				新たな移動手段の導入にあたって、AI技術を活用することで、さらなる利便性の向上をはかります	計画に記載	・AI技術を活用した新たな移動手段の導入検討に係る実証実験 公共交通空白地を含む学区のうち、地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区において、AI技術を活用した <b>デマンド交通実証実験を実施。</b>	交通支援制度の検討において、AI技術の導入も検討
						計画推進に資する	・mobi【再掲】 千種区において4年間運行していたが、事業収支の悪化により事業廃止。（令和7年12月31日）	-
② MaaSの実現	GTFSデータの整備等乗換検索の利便性向上をはかります				交通サービスの情報連携や他分野との連携を検討します	計画に記載	・MaaSアプリを活用した新たな移動手段の導入検討に係る実証実験 公共交通空白地を含む学区のうち、地域が主体的に交通課題の解決に取り組んでいる西福田学区において、MaaSアプリ（名古屋市版マイクロMaaS：デライド）を活用したデマンド交通実証実験を、 <b>令和7年度はWebチケット（回数券）を導入して実施。</b> ・エリア版MaaSアプリ「CentX」において <b>SRTとの連携</b>	最適なモビリティサービスの導入に向けた、MaaSアプリ（CentX・デライド）の高度化を検討  CentXを通じたモード間連携の促進
							・「標準的なバス情報フォーマット」に準拠した情報の整備 「標準的なバス情報フォーマット」に準拠した <b>情報の提供を開始。</b>	継続実施
③ 環境にやさしい交通の促進	カーボンニュートラルを推進するため、公共交通の利用を促すとともに、環境に配慮した車両への転換を検討していきます					計画に記載	・市バスにおける燃料電池バスの試行導入（令和5年4月1日運行開始） ・なごや観光ルートバス「メーグル」における燃料電池バスの導入（令和6年3月31日運行開始、 <b>2台目についても導入準備中</b> ） ・市バスにおいて電気バスの試行導入予定 ・名鉄バスにおいて、燃料電池車、EV車、リニューアブルディーゼル使用車両を導入 ・各交通事業者、公共交通利用促進に向けた取組を実施	継続実施
④ データを活用した移動実態調査・分析	地域公共交通協議会において、パーソントリップ調査や交通事業者の所有するデータなどの共有を行います まちづくりと連携し、ビッグデータ等を活用した移動手段の検討を行います					計画に記載	・令和6年度に実施した人流ビッグデータ等を活用した都心部の移動実態調査や、 <b>公共交通の利用状況等のデータを用いた現況調査等</b> を踏まえて、まちづくりと連携した移動手段を検討	継続実施
⑤ 回遊性を高めるための新たな路面公共交通システム「SRT」の導入	導入に向けた調査・検討、社会実験を実施します	名駅・栄間へSRTを導入します 都心部周回ルートへの展開等を検討します			事業規模の拡大をはかります	計画に記載	・ <b>SRT名古屋駅-栄ルートの運行を開始</b> ・ <b>名古屋駅-名古屋城ルートの運行に向けた調整を実施</b> ・ <b>エリア版MaaSアプリ「CentX」との連携</b>	ルートの拡充

※R8年度については、予算措置状況やR7年度取組の検証結果等により変更する可能性があります。